

V 参考資料

都道府県からの報告

*

「生徒の多様な学習ニーズに応える特色ある取組」に関する調査を踏まえた私見

日本大学商学部非常勤講師 田 中 幸 治

【北海道】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	北海道札幌東高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティア(SAT=School of Assistant Teacher)の活用。教科や特別活動など、学校の教育活動全般に SAT による補助(TT)が行われることで、きめ細かな指導の充実が図られ、生徒の多様な学習ニーズに込えている。 		
2	北海道有朋高等学校	単位制による定時制(多部制)
<ul style="list-style-type: none"> ・多様なニーズに込えられるように、様々なレベルの講座を開講して対応している。特に、国語、数学、英語の必履修科目については、増単+分割履修で、じっくりと基礎を学べるような講座を開講している。 ・年度ごとに所属部の変更を認めたり、他部の講座を自由に受講できたりするなど、一人一人のスタイルに合った学習環境が選択できるよう柔軟に対応している。 		
3	札幌市立大通高等学校	単位制による定時制(多部制)
<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育レベルの学習内容が定着していない生徒に対して、1年次において学び直しの内容で学校設定科目「チャレンジベーシック」を開設している。学習内容の定着も必要だが、学習習慣の定着や「できる」を実感させることを主たる目的として開設している。プリントによる自習形式で、解らないところは辞書や参考書(学校で用意)を自分で調べる。プリント学習が完了したら担当教諭が採点する。生徒個々のレベルに合わせて学習を進めて行ける。 		
4	北海道旭川工業高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・特に不登校生徒・中途退学経験者を対象にはいないが、資格取得に向けて、課外指導を随時行っている。 		

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	北海道岩見沢東高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の状況や能力に応じた課題プリントを使用し、授業での振り返り学習と放課後の添削指導を実施している。 		
2	北海道帯広柏葉高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活になじめず、学習支援が必要な生徒に対し日中の時間帯に個別の学習指導を行った。 ・心的要因により歩行困難な生徒に対し、民間支援団と市役所生活保護課と連携し通学支援を行った。 		
3	北海道江別高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の学校サポーター派遣事業、パートナー・ティーチャー派遣事業、スクールカウンセラー活用事業の導入、教職員は年4回定期開催の生徒理解研修により日常的な支援を手厚く行っている。学習は高大連携によるeラーニング、進路は教育局・市役所の2名の進路相談員による個別進路相談を実施し、生徒の個別ニーズに込えている。 		
4	北海道旭川工業高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー派遣事業、特別支援学校のパートナーティーチャー制度を活用して、生徒の困り感を把握し、教員間で共有するようにしている。 		

(3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	北海道稚内高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・プリントの漢字には全てルビをふっている。定期考査もルビ付きで行っている。 ・国語の授業は、別室で個別指導を行っている。 ・始業前に週2回のペースで日本語学習を行っている。 		
2	北海道苫小牧東高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験ではルビを付け、語群から選択させた。 ・週に1～2回別室にて、別教材（漢字ドリル）に取り組ませた。 ・市主催の外国人を対象とした日本語教室に参加させた。 		
3	北海道函館商業高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットで小学生の国語の教材を選び、家庭学習・一緒に取り組むなどを行っている。 ・教科書や参考資料等の本文にふりがなを付けるなどのサポートおよび翻訳アプリの利用を許可している（黒板をかざすと英語が出てくるもの。授業中に限り考査時の利用は不可）。 ・考査問題に、ふりがなを付けるサポートをおこなっている。 		
4	市立札幌大通高等学校	単位制による定時制（多部制）
<ul style="list-style-type: none"> ・学校設定科目「日本語」の履修（1年次に年間10単位、必要があれば2年次以上でも履修可能）。3（～4）展開のレベル設定で実施。国語（国語総合）、地歴（世界史A、地理A）、公民（現代社会）に海外帰国生徒等を対象とした講座を設置。生徒個別に日本語ボランティアによる日本語学習の支援（生徒の授業時間外）。所属HRとは別に「国際クラス」に所属し、担当教諭がHR活動や行事、総合的な学習の時間の学習活動などを支援している。 ・生徒によって日本語レベルが大きく違うことがあるため、それぞれのレベルに合わせた授業展開で指導したいが学校に配置される時間講師予算等の関係により実施できない場合がある。高等学校の教科書の学習に必要な学習言語の日本語習得まで到達することが困難な場合もある（特に非漢字国から来た生徒）が、学習を積み重ねることにより日本語能力は向上し、日常会話は問題なく行うことができるようになる生徒もいる。また、日本語の習得を補うために各生徒の母語支援を週に1単位、母語話者による指導を実施している。卒業して、進路実現を果たしている生徒が徐々に増えている（大学・専門学校等）。 		
5	北海道旭川工業高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までベトナム人3名が在籍していた。旭川医大・北海道教育大旭川校の学生が学習サポーターとして授業に同席していた。 		

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	北海道札幌月寒高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・「札幌東ハローワーク」の学卒ジョブサポーターおよび発達障害支援担当職員と「アルバイトの就業レベルに達していない生徒」のアルバイト就業支援を連携して実施。特に発達の障害状況に応じて適切な職種を斡旋・見守り支援を双方で行い、「就業の入り口」にあたる職業訓練として成果をあげている。 		
2	北海道有朋高等学校	通信制
<ul style="list-style-type: none"> ・SSWの資格を持つSCとの面談や道のSSW緊急派遣の取組を活用し、家庭環境に深刻な課題を持つ生徒に対し、支援の方法や制度について理解させて、高校卒業を目指す取組を進めている。 		

(5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	北海道有朋高等学校	通信制

・特に卒業を予定している生徒については、報告課題の提出等、最大限の配慮をする。
・刑罰等が完了したあとは、高校卒業に向けた決意文を作成することで、学習活動の復帰を認める。

【青森県】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	青森県立北斗高等学校	三部定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体でユニバーサルデザインの視点に立った「わかる授業づくり」に取り組んでいる ・1年次の国語・数学・英語で習熟度別授業を実施している 		
2	青森県立北斗高等学校	通信制
<ul style="list-style-type: none"> ・通常のスクーリングのない月曜日に必修科目の未修得生徒を対象とするスクーリングを実施している 		
3	青森県立尾上総合高等学校	三部定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・授業のユニバーサルデザイン化 ・学校設定科目「総合スキル」で国語・数学の学び直しとソーシャルスキル向上を狙いとした指導を取り入れている 		
4	青森県立八戸中央高等学校	三部定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン（UD）化授業の推進と習熟度別クラス編成 		
5	青森県立八戸中央高等学校	通信制
<ul style="list-style-type: none"> ・月2回程度生徒の質問を受け付ける「教科指導日」を設定し、それ以外にも登校しての学習支援を行っている 		
6	青森県立田名部高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・漢字検定の合格を増単し、インセンティブとしている。そのため週の最初の出校日のSHRの前に0時間を設定し、教育漢字からの練習を行って漢字検定受検に繋げている 		
7	青森県立五所川原高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・数学では一般常識テストの計算、国語では漢字検定の級別問題を活用するなど、各教科で自己肯定感を高めることに配慮し、中学校の内容の復習を取り入れている 		
8	青森県立弘前工業高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・国語科・数学科・英語科で学び直しの取り組みを行っている。国語科は10分間読書と読書記録簿・POPコンテスト・1年生での朝自習・ノート管理の指導など、数学科では基本計算の演習、英語科では日本語での練習などを行っている 		

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	青森県立北斗高等学校	三部定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から通級による指導を行っている ・全生徒に対し、入学時に「高校生活支援シート」と「中・高連携連絡支援シート」による情報収集を行い、入学後の各種調査等の結果を校内GWで管理し、情報共有と教育的配慮に生かしている ・「高校生のための就労支援の手引き」を作成し、就労支援施設でのインターンシップを実施した 		
2	青森県立北斗高等学校	通信制
<ul style="list-style-type: none"> ・入学時に、定時制と同じ二種類の支援シートによる情報収集と中学校訪問を行い、情報共有と教育的配慮に生かしている 		

3	青森県立尾上総合高等学校	三部定時制	<ul style="list-style-type: none"> ・入学時に生徒と保護者が記入する「高校生活支援シート」と生徒指導総合調査「テストバッテリー」により生徒の実態を把握している ・発達障害に関する実態や手だてを明確にする「サポートシート」を作成して指導している ・月例の特別支援委員会では要支援生徒の情報共有やケース会議を行い指導の評価をしている ・授業のユニバーサルデザイン化 ・SSW・SLS（スクールライフサポーター）・校内支援アドバイザーを配置し、専門家による支援体制を整えている ・身体障害等の診断を受けている生徒が校内を移動する際にはエレベータの使用を認めている
4	青森県立八戸中央高等学校	三部定時制	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のユニバーサルデザイン化と、サポートシートの作成（教育相談部が担当・担任や教科担当が情報入力）により問題点を有効な手立てを全教員で共有している ・一般就労が難しい生徒に、SSWと連携し障害者就業の社会福祉施設やハローワークの担当からアドバイスを受けながら対応している
5	青森県立田名部高等学校	夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> ・動作や音声などで一斉授業の参加が困難な生徒には、授業への母親の付き添いや昼間時に別室での個別授業を実施している
6	青森県立五所川原高等学校	夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科で、プリントやワークシートの作成を工夫し、個別指導を行っている ・板書に時間がかかる生徒には、カメラで撮影してあとで記入させている
7	青森県立弘前工業高等学校	夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> ・疑いのある生徒には、入学時からSSWの助言により受診や専門的診断へ繋げている ・保護者・校内支援アドバイザーに実習室を見学してもらい、危険性の認識と必要な合理的配慮を検討している
8	青森県立八戸工業高等学校	夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> ・児童相談所と連携し、障害手帳の取得につなげた ・個別の教育支援計画・指導計画を作成し、実習には経験のある保護者が付いて安全に配慮している

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)	
1	青森県立北斗高等学校	三部定時制	<ul style="list-style-type: none"> ・担任・SSW・養護教諭等の連携による支援体制を作っている ・アルバイトを奨励し、届け出制にすることで生徒の現状把握と保護を行っている
2	青森県立尾上総合高等学校	三部定時制	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉の専門家であるSSW・SLSによる支援体制の整備
3	青森県立八戸中央高等学校	三部定時制	<ul style="list-style-type: none"> ・各種奨学金の受給を勧め、卒業に影響のありそうな生徒を優先するなど配慮している ・1年次の総合的な学習の時間に自主教材「アルバイトの手引き」を使って労働に関する法令知識を身に付けさせた上で就労を奨励している

(5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	青森県立北斗高等学校	三部定時制・通信制
	・入学前の出身中学校訪問時の聞き取り及び定期的な警察との情報交換による実態把握	
2	青森県立八戸中央高等学校	三部定時制
	・入学予定者の中学校への聞き取り、定期的に警察との情報交換を行っている	

*本県では、県立高校に保護観察処分等の生徒は在籍していない。

【岩手県】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	盛岡工業 高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・少人数教育の特長をいかし、学習空白解消及び基礎学力向上を図るため、一斉指導を行いながら個別指導を加え、生徒の能力に応じた細やかな指導を行っている。 ・高校から学習する専門教科「工業」の授業を安全に、丁寧に指導することにより、生徒に新しい知識の獲得とものづくりの楽しさを体験させ、学習意欲の喚起を図っている。 ・始業前の5分間、全校生徒で国語・数学・一般常識などの基礎問題に取り組み、学習習慣育成及び基礎学力向上に取り組んでいる。 		
2	杜陵 高等学校 奥州校	昼間定時制、夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の昼間部に必修科目の国語総合・数学Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅰを習熟度またはT・Tで授業をしている。 ・来年度から1年次の授業について必修科目を中心に統一した時間割で実施し、学校生活に慣れさせる事に重点を置き、2年次以降に自分の進路に合わせた授業を選択するようになる。選択必修科目も基本は2年次以降に選択。モデル時間割も作成し、時間割を作成しやすいように現在検討中である。 		
3	杜陵 高等学校 奥州校	通信制
1年次に学校設定科目、数学入門・英語入門を開講し、振り返り学習を行っている。		
4	大船渡 高等学校	夜間定時制
学校設定科目(数学R)を開講し、振り返り学習を行っている。		
5	釜石 高等学校	夜間定時制
学校設定科目(2019年度申請、2020年度開設予定)を目指し、試行として農業体験学習(釜石市内産直施設「創作農家こすもす」における農作業体験等)に取り組み(LHRや総合的な学習の時間等で実施)、生産や協働のよろこび・やりがいを実感し、学習意欲の向上と新しい自己発見や将来展望につながる教育を実践している。		
6	宮古 高等学校	夜間定時制
1年生の数学・英語でTTの指導を実施している。		
7	久慈高等学校 長内校	昼間定時制、夜間定時制
<p>下記のとおり学校設定教科・学校設定科目を開講して、生徒の学力差に対応するとともに、中学校までの学習の振り返りにより、基礎学力の定着を図っている。</p> <p>学校設定科目：国語「教養古典」「国語教養」、情報「情報活用」</p> <p>学校設定教科・科目：一般教養「一般教養」</p>		

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	杜陵 高等学校	昼間定時制、夜間定時制
<p>車いす生徒のためにエレベータを設置している。発達障がいのある生徒に対して特別支援教育支援員や担当教員が授業でサポートを行っている。発達障がいのある生徒に対して岩手県発達障がい者支援センター「ウィズ」と連携し、キャリア教育を含めた進路指導を行っている。特別な支援が急務な生徒に対し、ケース会議を実施し、必要な場合、外部の支援機関につなげている。</p>		
2	盛岡工業 高等学校	夜間定時制
<p>知的支援を必要とする生徒及び障がいを有する生徒に対して、社会福祉法人と連携しキャリア教育を含めた進路指導を実施している。</p>		
3	杜陵 高等学校	通信制
<p>平成21年より、「岩手県立杜陵高等学校通信制地域連携ネットワーク会議」を設置し、年2回開催している。出席者は、福祉・医療・教育など外部団体20機関におよび、本校生徒のケーススタディを中心に情報交換している。</p>		
4	杜陵 高等学校 奥州校	昼間定時制、夜間定時制
<p>入学時に保護者面談を行い、支援が必要かどうか把握につとめている。</p>		
5	杜陵 高等学校 奥州校	通信制
<p>生徒・保護種に対して、スクールカウンセラーによるカウンセリングを勧めている。</p>		
6	大船渡高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・毎週水曜日の情報交換会で情報共有し、生徒一人ひとりに必要な支援を確認しながら指導を進めている。 ・軽度知的障がい傾向の生徒に対して、市民活動支援センターと連携しながら、パソコン操作等の就職支援企画に参加させ、就職に向けた指導を実施している。 		
7	釜石高等学校	夜間定時制
<p>発達障がいのある生徒に対して、発達障がい沿岸センターや釜石大槌地域障がい者就業・生活支援センター「キックオフ」とも連携しながら、キャリア教育を含めた進路指導を行っている。</p>		
8	久慈高等学校長内校	昼間定時制、夜間定時制
<p>本校の支援を必要とする生徒の障がい名「知的障がい、ADHD、広汎性発達障がい、双極性障がい」</p> <p>いわて特別支援教育かがやきプラン推進事業による、「特別支援教育支援員」を1名配置していただき、支援の必要な生徒に対して授業時にサポートを行っている。また、授業時にとどまらず、学校生活を含めた生活全般へのサポートも行っている。</p>		
9	福岡高等学校	夜間定時制
<p>発達障がいと疑われる生徒のために、特別支援教育支援員が授業中のサポートをしている。</p>		

(3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	福岡 高等学校	夜間定時制
<p>外国籍生徒に対して、一部授業においてT・Tによる授業を実施している。</p>		

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	盛岡工業 高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・県の予算によるスクールバスの運行 ・石澤奨学会利用者 1名 ・岩手県社会福祉奨学会利用者 1名 ・夜間定時制であり、昼間のアルバイトを奨励している 18人中8人就労 ・ETA（雇用主と定時制教師の会）の協賛会費による、生徒会行事等の運営費、各種大会の参加費、資格試験受験料の補助 		
2	杜陵 高等学校 奥州校	昼間定時制、夜間定時制
<p>アルバイトをすることを奨励したり、必要に応じて高教組等の給付型奨学金へ応募するなどの対応をしているが、定員枠があるため、対象生徒全員には対応できていない。</p>		
3	杜陵 高等学校 奥州校	通信制
<p>給付型の奨学金について積極的に応募している。</p>		
4	久慈高等学校 長内校	昼間定時制、夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・アルバイト就労を勧めている。 ・返済不要の奨学金を紹介し、受給している。 		

(5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	杜陵 高等学校	通信制
<p>昭和51年より、盛岡少年刑務所の被収容者の集団入学を受け入れ、本校教員が少年刑務所を訪問する形で通信制高等学校教育を実施している。全国で2例のうちの1つ。</p>		

【宮城県】

全国定時制通信制高等学校長会教育課程委員会アンケート調査
生徒の多様な学習ニーズに応える特色ある取組 調査票

※ 行数は、適宜増減していただいて結構です。また、学校数は記入欄の校数に限りません。適宜追加（少ない場合には空欄と）してください。

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	宮城県石巻北高等学校飯野川校	昼間定時制
1年次から4年次までの国語、数学、英語の各科目において習熟度別授業を展開しているほか、特に数学においては1年次に学校設定科目「数学入門」を設定するなど、中学校の学習内容の学び直しができるように配慮している。		
2	宮城県美田園高等学校	通信制
①義務教育段階の学習内容の学び直しを目的とした学校設定科目を英・数・国の3教科で開設している。②一般入学と編入学の機会を4月だけではなく10月にも設け、学習の空白期間が短くなるようにしている。③受講科目登録を個別面談形式で行い、それぞれの生徒の状況に応じたアドバイスをしている。④日・月のスクーリング日の午後、質問や相談が可能な部屋「個別学習支援室」を設け、専任スタッフを中心に全校体制で臨んでいる。また、宮城教育大学の学生に「学習サポーター」としてスタッフとともに支援にあたってもらっている。⑤水曜日の午後、集団が苦手な生徒や学習アドバイスが必要な生徒を対象にした「個別スクーリング」を実施している。⑥専用 web ページで、レポート作成のためのヒントを提示したり、スクーリングで配布したプリントの提示をするなど、自学自習に役立つ内容になるようにしている。		
3	宮城県佐沼高等学校	夜間定時制
数学の学び直しとして学校設定科目「基礎数学」を火・水・木の始業前に設定。対象学年は1年～2年、修得単位数は1～3単位。内容は、各個人の学力によるが、小学校算数から実施している。		
4	仙台市立仙台工業高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・数学科では、年度の初めに学び直しで、始業前に補習を行っている。 ・生徒理解（情報交換や観察）に努め、教職員間で情報を共有し、個々の特性に合わせた指導に心がけている。個々の生徒に対する生徒指導研修も実施している。 ・スクールカウンセラーの協力も得た、悩み等を相談しやすい環境づくりに取り組んでいる。 		
5	宮城県第二工業高等学校	夜間定時制
数学Ⅰと工業数理基礎は、2名の教員によるティームティーチング（TT）授業を行い、個々に応じた丁寧な指導を通して学び直しを図っている。		
6	宮城県田尻さくら高等学校	昼夜間定時制
「学び直し」を意識した基礎力養成ショート講座「さくらレインボータイム」を週2回行っている。昼夜併修時間帯に設定しているSHRを延長する形で、国数英を中心に実施している。		
7	宮城県大河原商業高等学校	夜間定時制
不登校生徒の状況に合わせて、長期休業中に行う補講を他の生徒とは別のプログラムを組み対応するようにしている。		
8	宮城県貞山高等学校	昼夜間定時制
義務教育段階で不登校を経験した生徒に対して、学校設定科目（国語・数学・英語等のベーシック科目）を設定することで学び直しや振り返り学習を行っている。また、中途退学を経験した生徒に限らずに、進学等の意識のある生徒に対して、始業前の0時間講習等を行っている。		

9	仙台市立仙台大志高等学校	昼夜二部制・単位制
<p>数学・英語の教科において習熟度別少人数授業を実施するなどして、学習の遅れを補うような個別指導を心がけている。また、入学年次は各クラス15名程度の少人数編成にして、科目選択や進路指導等の手厚い指導ができるようなシステムにしている。</p>		

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	宮城県石巻北高等学校飯野川校	昼間定時制
<p>①SC (年間30回)、SSW (年間24回) の活用、②月1回の全職員+SC・SSWによる情報交換会の実施、③全生徒対象の5週間に1回「生活アンケート」の実施→相談等希望有無を確認→担任との面談、必要に応じてSC・SSWに繋げる。④三修制の希望生徒に対する学校外の学修の様々な取組によるコミュニケーション能力・自己肯定感等の育成(販売実習、農業実習、インターシップ、石巻高等技術専門校での体験実習、石巻専修大学の講義受講等)⑤卒業予定生への進路支援として、発達障害等により対人関係不得手生徒に対して、発達障害を抱えている生徒への就労支援を行っているNPO外部機関の職員を交えての校内での進路面接練習の実施。⑥複雑な家庭環境等により特別な支援を必要とする生徒(及び兄弟姉妹等)については、児相等と連携した定期的なケース会議等により情報交換し必要な情報を校内で共有化して支援に生かしている。</p>		
2	宮城県美田園高等学校	通信制
<p>①特別支援委員会を組織し、スクーリングを実施した週に委員会を開き、対象となる生徒の情報を共有するとともに、対応可能な支援策を検討している。②SC、SSW、CA、学習支援員を配置してもらい、教育相談体制の充実を図っている。③自立支援委員会を組織し、対象生徒の進路実現に向けた段階的な取り組みを推進している。④定期的に「情報共有の会」を催し、担当者個々が持っている情報のすりあわせを行い、多角的に生徒をとらえるようにしている。⑤保護者の付き添いが必要な生徒については、許可証を発行した上で校内での付添い同行を認めている。</p>		
3	宮城県田尻さくら高等学校	昼夜間定時制
<p>・大学病院の医師を招き「精神保健研修会」毎月行っている。発達障害またはその疑いのある生徒、自傷行為やひきこもり等さまざまな症例を持つ生徒に対して、医学的見地からの説明やアドバイスを受け、学校での指導に役立てている。</p> <p>・教育相談・特別支援委員会を設置し、学校生活を送る上で支援や配慮を要する生徒に対し、「ケース会議」を開いている。「精神保健研修会」での意見も参考に善後策を検討し、適宜職員間で支援方法を共有の上、日常の指導に活かしている。</p>		
4	宮城県東松島高等学校	I部(午前)・II部(午後)・III部(夜間)制
<p>発達障害の疑いのある生徒に対して、市の支援団体や支援学校の特別支援コーディネーター等の外部組織、または校内就職支援職員と連携しながら、キャリア教育を含めた学習指導や進路指導を行い、就労支援につなげている。</p>		
5	大河原商業高等学校	夜間定時制
<p>自閉症で他の生徒の声等が気になり、授業に集中できないことを理由に別室登校となった生徒に対し、教室で授業内容とは別の課題プリント等に取り組むことを認めた。</p>		
6	宮城県貞山高等学校	昼夜間定時制
<p>特別支援委員会によるユニバーサルデザインを取り入れた応援プロジェクト(テイザンデザイン)を立ち上げ、中学校からの引継事項や保護者アンケート等により実態を把握し、個別・全体に応じた継続的な応援を行うことで進路目標の達成(社会参加と自立)に結びつけている。なお、本校では「支援」と言わずに「応援」という名称で取り組んでいる。</p>		

7	仙台市立仙台大志高等学校	昼夜二部制・単位制
<p>入学前に中学校訪問や保護者面談等を通じて、支援を必要とする生徒の情報を収集し保健厚生部でデータを一括管理する。その資料を基に年度当初全職員で情報共有の会議を行う。また、個別情報は校内の共有フォルダーに蓄積し、授業等の学校生活のあらゆる場面で入手した情報を逐次入力して情報の更新を行い閲覧(パスワード入力)できるようにしている。</p>		

(3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	宮城県美田園高等学校	通信制
<p>外国籍の生徒の在籍はあるが、現在のところ日本語の指導が必要な生徒はいない。</p>		
2	宮城県田尻さくら高等学校	昼夜間定時制
<p>日本語を母国語とせず、学習や生活に不便を感じている生徒を対象に学校設定科目として「日本語」(2単位)を開設している。</p>		
3	仙台市立仙台大志高等学校	昼夜二部制・単位制
<p>本人の申し出に応じて、学習プリントなどへの「ルビ」などを施したり、i Pad等の電子ツールの使用して辞書を引くなどを許可したりして個別対応をしている。ただし、あくまでも補助手段としての実施で自立させることを目標としているので限定的に行っている。</p>		

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	宮城県石巻北高等学校飯野川校	昼間定時制
<p>① 中学校訪問による情報(支払い遅延生徒の把握等)・高校入学後の事務室からの情報(就学支援金等)等により該当生徒の把握をしている。②支給状況(在校生徒数78名)は次のとおり：奨学給付金受給生徒28名、被災生徒奨学資金貸付28名、あおぞら奨学金12名、夢サポート奨学金7名など。</p>		
2	宮城県美田園高等学校	通信制
<p>①東日本大震災により被災した生徒の選抜手数料及び入学金を免除する制度がある。②定時制及び通信制に在籍する勤労青年のための就学資金貸付の制度と、教科書・学習書給与費を補助する制度がある。③SC、SSW、CA、学習支援員を配置してもらい、教育相談体制の充実を図っている。</p>		
3	宮城県佐沼高等学校	夜間定時制
<p>修学資金の貸付制度の活用。 ETA(Employer-Teacher Association 雇用主と教師の会)による就労支援、奨学金給付制度有り。</p>		
4	仙台市立仙台工業高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部において、アルバイト情報を生徒に提供している。 ・未払いの場合、ご家庭と事務室の話し合いにより、支払いの計画を立てていただいている。 		
5	大河原商業高等学校	夜間定時制
<p>給食は捕食とし、体育の授業も指定のジャージを購入させずに行うなどして、できる限り学校生活に掛かる経費を抑えるようにしている。</p>		

6	宮城県貞山高等学校	昼夜間定時制
東日本大震災により被災した生徒に対する入学金等の免除制度や教科書給与費及び夜食費の補助等による経済的な負担の軽減を周知している。また、各種奨学資金制度についても案内を徹底している。さらに、保護者に対して、事務部による分割支払計画等の相談も行っている。		
7	仙台市立仙台大志高等学校	昼夜二部制・単位制
各種奨学金や修学支援金等の紹介をチューターや事務担当者で行い個別対応で支援している。事例によっては市の保護課等の外部機関と連携して相談に乗っている。		

(5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	宮城県石巻北高等学校飯野川校	昼間定時制
生徒の実態としては、改善しているケース（4年次生で就職内定）や改善していないケース（2年次生で家庭環境も落ち着かず怠学傾向）がある。中学校時代の非行・犯罪歴については高校入学当初の中学校訪問で把握している。個の状況に応じた学習支援（欠時多い場合の補充・補習等）を行っているが特別な学習指導は行っていない。		
2	宮城県美田園高等学校	通信制
①入学段階で、全職員で対象者の情報の共有を図るようにしている。②担任をはじめ、多くの先生方で声がけをし、生徒の特性理解と対応の仕方をさぐり、生徒との関係づくりを大切にしている。また、スクーリング時に校内の交友関係を把握し、行動の様子を炉辺談話的に職員室で情報交換している。		
3	宮城県大河原商業高等学校	夜間定時制
該当する生徒は少数在籍しておりますが、入学後、特に学習に配慮を要してはおりません。		

【秋田県】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	県立大館鳳鳴高等学校	多部制定時制 (昼・夜)
学校設定科目として、実用国語及び数学基礎演習を設けることにより、義務教育段階の学び直しを行っている。		
2	県立本荘高等学校	夜間定時制
1年次向けの学校設定科目 (R L M [数学]、R L J [国語]) を開講し、小学校算数、中学校数学の学び直しを実施。		
3	県立横手高等学校	夜間定時制
学習ニーズではないが、転編入生の中には必修科目を履修するために、他部の授業に出なければならない生徒がいる。そうした生徒の履修状況を把握し、時間割編成の際に考慮して編成、スムーズに履修できるようにしている。		
4	県立角館高等学校	昼間定時制
学校設定科目 (国語基礎、数学基礎) で、学び直しを中心とした授業を行っている。		
5	県立能代工業高等学校	夜間定時制
入学当初の個人的な振り返り (学びなおし) の学習指導		
6	県立秋田明德館高等学校	多部制定時制 (昼・夜)
早い時期の中学校訪問で新生生の情報交換を行い、個別指導ができるようにしている。また、授業でも、中学時の不登校生徒のための学び直しとして「数学入門」を設定している。		
6	県立秋田明德館高等学校	通信制
学校設定科目として「数学 I 入門」を設定し、計算分野の振り返りを行っている。また、学習支援委員会を中心に全職員で「学び直し講座」(学修 A) を実施している。		

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	県立大館鳳鳴高等学校	多部制定時制 (昼・夜)
特別な支援を必要とする生徒については個別の指導計画を作成し、それに基づいて全職員で学習指導や生徒指導に当たっている。半期ごとに状況进行评估し、指導計画の見直しを行っている。 本校に設置されているフリースクールの空間 (スペース・イオおおだて) に配置されている特別支援教育担当教諭及びスクールカウンセラーと連携し、当該生徒及びその保護者への対応方法やカウンセリングを行っている。		
2	県立本荘高等学校	夜間定時制
ゆり支援学校教育専門監による授業参観や S C、専門監、外部専門機関等を交えたケース会議を行い、指導の方向性 (個別の指導計画立案) 等の共通理解を図るよう努めている。		
3	県立横手高等学校	夜間定時制
LD など、障害による低学力が疑われる生徒に対し、数学などの教科で習熟度別授業を展開している。また、LD・ADHD の心理的疑似体験プログラムなどの職員研修を行うとともに授業のユニバーサルデザイン化の研修も実施し、取り組んでいる。		
4	県立能代工業高等学校	夜間定時制
教室配置の配慮 (4 階から 3 階へ移設、教室と職員室の距離短縮化) 特別支援学校教育専門監を交えた高等学校支援隊の活用		

5	県立秋田明德館高等学校	多部定時制（昼夜）
<p>校内職員だけでなく、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携を密にして個別対応を行っている。また、今年度から、領域「自立活動」を取り入れた教育課程を編成し、生徒の希望を募って通級による指導を開始した。</p>		

(3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	県立横手高等学校	夜間定時制
<p>かつては、地域のボランティアの方に、日本語指導などを学校で実施していただいていた。現在は、行っていない。</p>		

【山形県】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	山形県立霞城学園高等学校	通信制
	<ul style="list-style-type: none"> 学校設定科目「明日への国語」「明日への数学」「明日への英語」(各2単位)を開講している。内容は主に中学校の復習と筆履修科目の基礎的な部分の学習。 	
2	山形県立霞城学園高等学校	通信制
	<ul style="list-style-type: none"> 「基礎力アップ学習会」を実施している。対象は、入学直後のレポート学習会で「基礎力コース」とされた生徒、及び上記「明日への・・・」科目の履修登録をしている生徒を中心に。年間20回。継続的に学習した(8割以上出席)生徒には校長名で修了証を授与する。 	
3	山形県立霞城学園高等学校	昼間定時制／夜間定時制
	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力養成のための独自教材「たいよう」の作成・活用を行っている。各教科の基礎的内容、一般常識など領域・バランスを考慮した教材を開発し、HRごとに取り組みせている。年間16回。 	
4	山形県立新庄北高等学校	夜間定時制
	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力を定着させるために、基礎学力講座を設けて、各教科で生徒対して指導を行っている。また、その中で必要に応じて個別指導を行っている。 	

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	山形県立霞城学園高等学校	昼間定時制／夜間定時制
	<ul style="list-style-type: none"> 県の予算による特別支援教育支援員(1名)が配置されている。(1週間につき30時間)県内12校に1名ずつ。 	
2	山形県立霞城学園高等学校	通信制
	<ul style="list-style-type: none"> Eメールによる教科に関する質問の受け付けとそれに対する回答を行っている。 	
3	山形県立新庄北高等学校	夜間定時制
	<ul style="list-style-type: none"> 支援が必要な生徒について授業中に特別支援教育支援員が傍にいて注意を促したり、アドバイスやヒントを与えたりするなど、学習の支援を行っている。 	
4	山形県立新庄北高等学校	夜間定時制
	<ul style="list-style-type: none"> 療育手帳を持つ生徒に対して、ハローワーク等との連携を図り、キャリア教育を含めた進路指導を行った結果、一般就労枠で就職できた。 	

(3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	山形県立霞城学園高等学校	昼間定時制／夜間定時制
	<ul style="list-style-type: none"> 外国籍の生徒2名在籍。(フィリピン、台湾1名ずつ) 県の予算で日本語指導員(非常勤講師週4時間)が配置され、授業以外の時間を利用して日本語指導を行っている。 	
2	山形県立米沢工業高等学校	夜間定時制
	<ul style="list-style-type: none"> 中国籍の生徒3名在籍。授業には支障ないが、就職試験対策として面接・作文の個別指導を行っている。 	

【福島県】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	福島県立保原 高等学校	夜間定時制
<p>入学当初にスクールカウンセラーと面談し、どのような支援が必要か個別に把握し、高校生活に早期になじめるように配慮する。</p>		
2	いわき翠の杜高等学校	昼間定時制／夜間定時制
<p>選択授業に多くの学校設定科目を設け、小・中学校段階からの学び直しが出来るようにしている。</p> <p>(例) 国語読解・・・基礎的な漢字の読み書きや語彙力を高め、国語常識を身に付けさせる。 社会科基礎研究・・・中学校での地理・歴史・公民の基礎的事項の復習をする。 基礎数学・・・小学校や中学校で学んだ算数や数学の復習をする。 英語のしくみ・・・中学校の基礎文法から復習する。</p>		
3	いわき翠の杜 高等学校	昼間定時制
<p>昼間主コースは1クラスを習熟度別の2つに分けて、小人数での授業を実施している。特に1年生の下位層クラスには学習支援員を配置し、学習上の困難を抱える生徒を中心にサポートしている。</p>		
4	白河第二 高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の学習内容を確認しながら授業を行う。 ・発問(質問)を工夫する。 基礎知識が不足しているためにそもそも「質問」の意味が理解できずに答えられない生徒がいたり、定型的な「質問」のために思考しようとする刺激が得られないために答えられない生徒がいる。生徒に合った「問いかけ」や興味関心や能力を刺激する「発問」を行っている。 ・学習の内容を「日常生活」と関連づけながら授業を行う。 ・傷ついた生徒の心を癒やしながらか授業を行う。 不登校生徒に学ぶ喜びを伝えるためには、まず安心できる教室環境が必要である。生徒の発言をしっかりと受け止めながら、カウンセリングマインドを持って対話を中心に授業を行う。 ・一斉指導にこだわらない。 みんなに同じ事を言わせない、させない。 ・教師が主導権を握らない。 生徒同士で学ぶ機会をたくさん設ける。 ・複数の教員が授業に参加する。 学習支援員や教頭などが授業に参加し、複数の目で生徒を指導する。 ・スクールカウンセラーと情報共有する。 スクールカウンセラーが全生徒と面談し、その情報を授業や指導に活かしている。 		
5	郡山萌世 高等学校	昼間定時制
<p>1年次の国語総合、数学Ⅰ、コミュニケーションⅠは、1クラスを基礎・標準の2つに分けて習熟度別に授業を展開している。</p>		

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	福島工業 高等学校	夜間定時制
2年間に在籍し退学した後13年後に再び編入学し、1年間は登校したがその後不登校となり現在は休学中である生徒に対し、福島県青少年総合相談センターを介して就職支援を行った。職業訓練所の入所前に、作業所で就業体験をさせていたが半年持たずに通わなくなった。現在、センターの職員と多方面からアプローチを行っている。		
2	福島県立保原 高等学校	夜間定時制
軽度の知的障害のある生徒に対して、学習支援員による個別的な指導や、特別支援コーディネーターによる対応を行っている。		
3	いわき翠の杜 高等学校	昼間定時制／夜間定時制
生理的な現象で頻繁に教室の出入りを必要とする生徒や他の生徒に囲まれることを苦手とする生徒には、精神的に安定するよう机の配置を工夫している。		
4	いわき翠の杜 高等学校	昼間定時制
学習障がいと判断される生徒には、学習支援員が個別に教科指導をしている。		
5	福島中央 高等学校	夜間定時制
車イスの生徒に対して、移動の補助、階段昇降機運転、トイレ付き添い、給食配膳（食堂まで移動している時間がないため）をする介助員を配置している。		
6	白河第二 高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・文字を書き取ったりすることが苦手な生徒に、パソコンを使ってキーボードで入力することを認めている。 ・生徒に応じた自作プリントを作成し、文字情報を苦手としている生徒にはイラストや記号（アイコン）を決めて理解を促している 		
7	郡山萌世 高等学校	夜間定時制
学習支援員を配置し、学習上の困難を抱える生徒を中心にサポートしている。		

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	福島県立保原 高等学校	夜間定時制
スクールソーシャルワーカーと学校、家庭が連携して、市役所や社会福祉協議会等への経済的支援の要請を行っている。		
2	いわき翠の杜 高等学校	昼間定時制／夜間定時制
欠損家庭が多いことから経済的に困難を抱えている生徒は少なくない。そのため、事務部やSC、SSWと協力し、保護者の協力を得ながら学校継続の支援を行っている。		
3	白河第二 高等学校	夜間定時制
スクールソーシャルワーカーと連携し、石澤奨学金が支給されている。		

(5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	いわき翠の杜 高等学校	昼間定時制／夜間定時制
関係機関（児童相談所、警察等）と連携し、生徒の成育歴を把握しながら学校継続の支援を行っている。		

【栃木県】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	栃木県立宇都宮高等学校	通信制
<ul style="list-style-type: none"> 希望者対象に、国語・数学・英語の小中学校学習内容の学び直しの機会として「学びの時間」を設定。隔週木曜日 10:00～12:00 出席の扱いはない。 集団が苦手な生徒に対して出席時数確保や、学習内容理解不足の生徒に解説の機会として「学習指導日」を設定。隔週金曜日の午前中、時間割有り。 		
2	宇都宮工業高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> 国数英において習熟度別学習を実施している。 小・中学校段階での基礎学力の補充を要する生徒については、個別に補習を実施している。 		
3	宇都宮商業高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> 始業前の0時間目に、希望者を対象として基礎学力講座（国・数・英）を実施している。 		
4	栃木県立鹿沼商工高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> 第1年次対象の学校設定科目（数学科:基礎からの数学）を実施し、振り返りと基礎基本の定着を図っている。 		
5	栃木県立学悠館高等学校	昼夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> 国語、数学、英語で2～3段階に分けた習熟度別授業により、生徒個々の学力に応じたきめ細やかな学習指導を行っている。 12教科、約100科目、360講座を開設し、生徒のレベルに応じた学習ニーズに応えられるようにしている。 		
6	栃木県立学悠館高等学校	通信制
<ul style="list-style-type: none"> スクーリングのない木曜日に大学進学を希望している生徒に対して「進路講座」を設けている。また、基礎学力の向上を目指している生徒に対して「学びの時間」を設けている。 		
7	矢板東高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> 国語、数学、英語の3教科は、クラスを2つに分けて習熟度別の授業を行い中学校の学習内容の復習なども取り入れている。 		

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	宇都宮工業高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> 県教育委員会から特別に非常勤講師（加配）を配置していただき、チームティーチング形式で対象生徒の支援にあたっている。 特別支援コーディネーターを中心に校内でケース会議を開き、合理的配慮の内容を共通理解、認識しあいながら対象生徒の指導にあたっている。 		
2	宇都宮商業高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> 入学時に、食物アレルギーがある生徒に対して、本人と保護者を対象に面談を実施している。 		

3	栃木県立鹿沼商工高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・事例研究会（年2回、第1、2学期）を実施し各年次の在籍生徒個々についての情報を共有し、学校生活の様々な場面で対応できるようにしている。研究会出席者:学校長、事務部を除く定時制に関わる全教職員 ・特別日課を編成しての面接週間の実施。各担任とクラス生徒との、学習、学校や家庭生活上の悩みや困り事、進路、交友関係などについての情報交換の機会としている。この機会を問題等の早期発見と解決の糸口としている。 		
4	栃木県立学悠館高等学校	昼夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・科目履修登録指導において十分な面談を行い、生徒個々の特性に応じた科目選択や習熟度クラスの選択をさせる。 		
5	栃木県立足利工業高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害の生徒がいた場合には、専門の指示を書き込める黒板等を前の黒板の脇に設置してわかりやすくする。 		

(3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	宇都宮商業高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・板書や試験問題、配布物などにルビをつける。 		
2	栃木県立学悠館高等学校	昼夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・学校設定科目「にほんご」を開設し、「話す・書く・読む・聞く」活動を通して日本語の基本的な知識と技能を身につけられるようにしている。講師の方には、外国人生徒の指導に関わる保護者の対応もお願いしている。 ・試験問題ではルビ付きを用意。また、単位取得に関わる保護者宛通知には、日本語、英語、スペイン語の3カ国語で準備したものもある。 		
3	栃木県立学悠館高等学校	通信制
<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮大学の学生にボランティアとしてスクーリングの放課後に「レポート作成支援」をお願いしている。 		
4	栃木県立足利工業高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の生徒等で日常生活でも日本語がうまく通じないレベルの生徒に対しては、クラスの連絡においては別プリントを用意、授業においては、板書の漢字にふりがなふる、スマホでの翻訳機能の使用を認めているなどの対応をしている。 		
5	真岡高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・始業前に非常勤の講師による日本語指導を週3回実施している。テキスト「みんなの日本語初級」を使用。外国籍等の生徒5名程度が参加している。 		
6	栃木県立大田原東高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・試験問題や授業で使用するプリントにルビをふる等の対応をしている。 ・国の支援金、給付金の申請書類を文科省のHPからダウンロードし外国語の書類にて対応している。 		

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	栃木県立宇都宮高等学校	通信制
<p>・事務室との連携により、支援金や給付金の申請漏れの無いように丁寧な指導。奨学金に関しては、全生徒に周知を徹底するとともに、係や担任から返済展望まで含めての慎重な指導を行っている。</p>		
2	宇都宮工業高等学校	夜間定時制
<p>・教材など、個人負担ができるだけかからないように配慮している。修学旅行等は希望参加としている。「諸経費を高額滞納している家庭に、継続的に督促をしているが、支払いに応じる気配がない。該当生徒は毎日給食を食べている。」このような生徒でも排除しないで面倒をみている。</p>		
3	栃木県立鹿沼商工高等学校	夜間定時制
<p>・県の就学支援金制度の活用や、市町、その他民間の財団等が実施する奨学金制度の案内と利用申し込み手続きの指導。</p> <p>・進学意欲（主に専門学校等）と能力のある生徒に対し、経済的理由により進学を断念することがないように、日本学生支援機構奨学金制度の案内と希望生徒への申し込み手続き等の指導。</p>		
4	栃木県立学悠館高等学校	昼夜間定時制
<p>・事務室との連携により、支援金や給付金の申請漏れの無いように丁寧に指導している。諸会費納入に関する案内を、数ヶ月前から家庭送付物に同封し周知するとともに、準備していただくようにしている。</p>		
5	栃木県立足利工業高等学校	夜間定時制
<p>・家庭の経済による困難による、奨学金・支援金・給付金の支給状況は、奨学金を借りている生徒はなし、支援金を受けている生徒はほぼ全員、給付金を受けている生徒は約3割となっている。</p>		
6	矢板東高等学校	夜間定時制
<p>・学校独自の対応として、所得が低い家庭の生徒に対する PTA 会費の減免や兄弟がいる場合でも1家庭から1名分しか集めないなどの負担軽減を行っている。また、高校生等奨学給付金について周知し、滞納がある家庭については、その活用を勧奨している。</p>		

(5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	栃木県立宇都宮高等学校	通信制
<p>・喜連川少年院と連携し、集団生として受け入れている。出院後は、本校継続や転学の手配を行い、学習を継続し高校卒業資格が取得ができるよう支援している。</p>		
2	宇都宮工業高等学校	夜間定時制
<p>・該当生徒の家庭と連携を図りながら、注意深く観察している。出身中学校の先生と情報交換をし、該当生徒の特徴を理解して指導にあたるようにしている。</p>		
3	栃木県立足利工業高等学校	夜間定時制
<p>・警察署との連携により生徒の問題行動等の情報が得られるようになっている。それらの情報を参考に、個々の生徒に配慮した生徒指導に活かしている。</p>		

【群馬県】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	群馬県立前橋清陵高等学校	昼間定時制
国語総合・数学Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅰを基礎と精選に分けて、習熟度による指導を行っている。		
2	群馬県立高崎工業高等学校	夜間定時制
学業不振科目を持つ生徒には、始業前・放課後・長期休業を利用して補習を実施。全校生徒を対象に一般教養を高める指導として「基礎学力試験」を実施。教科においては漢字・計算ドリル等の教材を用いた学び直しを実施している。		
3	群馬県立高崎商業高等学校	夜間定時制
1年次1学期の間、始業前に中学校の基礎基本事項(主に数学・英語)について学び直し補習を実施(希望者)。		
4	群馬県立伊勢崎工業高等学校	夜間定時制
学校設定科目「数学セミナー」を設定して学び直し学習を行なっている。		
5	群馬県立太田フレックス高等学校	昼間定時制
国語総合、数学Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅰにおいて習熟度別の授業を展開し、学力差の大きい生徒に対応している。		
6	群馬県立太田フレックス高等学校	夜間定時制
学校設定科目「ことばと生活」、「みんなの数学」を開講して、学び直しを行っている。		
7	群馬県立高崎高等学校	通信制
学校設定科目「言葉の探求」「日本文化史」「総合理科」「理科実験観察」「未来への英語Everyday English」を開講して、基礎基本を中心とした内容や体験的な内容を含む学習で、基礎学力の定着を図っている。		

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	群馬県立前橋清陵高等学校	昼間定時制
学校設定科目「ライフスキルⅠ」を開講して、生活面・学習面の困難を克服し、問題を解決するためのスキルの般化を目指して指導を行っている。		
2	群馬県立高崎工業高等学校	夜間定時制
発達障害やグレーゾーンの生徒にはスクールカウンセラーや高等特別支援学校アドバイザーを活用し、生徒の状況をできるだけ正確に把握することで状況に応じた対応をしている。		
3	群馬県立太田フレックス高等学校	通信制
面接指導(スクーリング)時に、保護者等が希望により同席できるようにすることで、生徒の負担感等が軽減され、学習活動の継続に繋がるケースが見られている。		
4	群馬県立高崎高等学校	通信制
高齢の生徒に対して、拡大コピーしたテストやレポートで学習に取り組んでもらう。また、授業を聞きながら理解するのが難しい特性を持つ生徒に対して、授業の録音を許可した。		

(3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	群馬県立高崎工業高等学校	夜間定時制
複数教員で対応の授業については、同一内容教材での個別指導。単独の授業では個別課題の実施および別時間帯における個別補習等を実施している。		
2	群馬県立伊勢崎工業高等学校	夜間定時制
1・2年の国語総合の授業では2人の教員によるチームティーチングを行なっている。T2が教室内で別教材を使用して漢字指導を行なっている。		
3	群馬県立太田フレックス高等学校	昼間定時制
群馬県の委嘱事業である「外国人児童生徒等教育・心理サポート事業」を利用し、「学習サポートクラブ」として年間29回（1回につき2時間30分）の学習支援を行っている。		
4	群馬県立藤岡中央高等学校	夜間定時制
始業1時間前に登校し、各教科担任が日替わりで個別に補習を行っている。		

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	群馬県立前橋工業高等学校	夜間定時制
同窓会による給付型奨学金制度がある。年間3万円で各学年1名を目安に給付している。		

【埼玉県】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	埼玉県立 上尾 高等学校	夜間定時制
<p>高校教育指導課による「学習サポーターの配置」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の基礎学力の定着と学習意欲の向上を図ることを目的とする。 ・授業でのチームティーチングや始業前補習自習の個別指導等の学習支援を行う。 ・教員を目指している大学生などを学習サポーターとしている。 ・大学生が多いため、生徒は質問しやすい。 ・チームティーチングでは学習に躓きのある生徒への対応が可能になるため、非常に助かっている。 ・原則として県内の定時制高校に配置されるが、予算が年々減少しているため希望時間数の確保に苦慮している。 		
2	埼玉県立 朝霞 高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・学習の基礎となる「国語」の授業（3年、4年）と、習熟度の差が大きい「数学」の授業（3年、4年）、スキルに差のある「情報」の授業で少人数授業を実施している。 ・習熟度の差が大きい「数学」と「英語」の授業（主に1年、2年）と、集団活動が苦手な生徒のいる「体育」の授業（1年、4年）に、学習サポーターが入り支援を行っている。 		
3	埼玉県立 浦和一女 高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・学習サポーターによる学習指導（始業前補習）を行っている。学習会場を給食室にし、参加回数に応じたポイントカードを作成するなど、気軽に参加できるよう工夫している。 		
4	埼玉県立 大宮工業 高等学校	夜間定時制
<p>学校設定科目として、Restart 数学・Restart 英語を選択科目として0時間目に設定している。それぞれ週2回25分ずつ授業を行い、それぞれ1単位を認めている。また、国語・数学・英語において1クラス2展開の少人数授業で、きめ細やかな指導を行っている。</p>		
5	埼玉県立 大宮商業 高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・教員が始業前に科目を問わず補習時間や質問時間を設定して、学習支援を行っている。 ・県の事業で、学習サポーターが週2回来校し、学習支援を行っている。 		
6	埼玉県立 大宮中央 高等学校	昼間定時制・通信制
<p>学力に課題がある場合は、個別の補習や、学習サポーター(大学院生等)による学び直しの指導を行っている。</p>		
7	埼玉県立 春日部 高等学校	夜間定時制
<p>数学と英語で習熟度別授業を実施し、数学と情報では近隣大学の学生が学習支援員として授業をサポートし、分かるまで教えることによって学習意欲を喚起している。</p>		
8	埼玉県立 川口工業 高等学校	夜間定時制
<p>NPO 法人若者サポートステーションと連携し、派遣された相談員と生徒全員の個別面談を実施している。生徒は将来に対しての不安や今抱えている悩みなどを相談員に相談し、アドバイスを受ける。また、良好な人間関係づくりができるように学年ごとに発達段階に応じたソーシャル・スキル・トレーニングや講演会などを実施し、学校や社会から孤立することを防ぐ取り組みを行っている。NPOの相談員と学校側では、それぞれ得た情報を交換し、個々の生徒に適切な指導が行える体制をとっている。</p> <p>何らかの事情で不登校や中途退学となってしまうと、将来にわたり切れ目のないサポートをすることができる機関があることを生徒に知らせる目的でもある。</p>		

9	埼玉県立 熊谷 高等学校	夜間定時制
<p>中学校在籍時に不登校となり、基礎学力が身につけていない生徒に対しては、県の支援事業である学習サポーター制度を活用し、学習サポーター生徒に授業中寄り添いながら学習支援を行っている。</p> <p>中途退学で転・編入学してきた生徒で、卒業認定に必要な必修科目を履修していない者について、教科で継続的な補習を行うことで履修を認定し、卒業まで指導している。</p>		
10	埼玉県立 狭山緑陽 高等学校	昼間定時制（昼夜・二部制）
<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育内容の学び直しができる科目を選択科目として置いている。 ・少人数学級編制により、必修科目も少人数で学習し、個別的な支援を行いやすくしている。 ・1、2年次の数学と英語において習熟度別授業を行い、習熟度に応じて時間をかけ丁寧に指導している。 ・夜間部に学習サポーターを導入し、個別的な支援を行っている。 		
11	埼玉県立 所沢 高等学校	夜間定時制
<p>(1)「高校生自立支援事業」により、サポートステーションから委託された育て上げネットと連携して、不登校生徒や中途退学した生徒への支援を実施。</p>		
12	埼玉県立 戸田翔陽 高等学校	昼間定時制（昼夜・三部制）
<p>○本校は三部制で、生徒はⅠ部（午前）・Ⅱ部（午後）・Ⅲ部（夜間）のいずれかに所属する。自分の所属する部を「自部」、自部以外の部を「他部」という。自部20時間の他に他部履修を1年間に10単位（平成31年度入学制からは12単位）まで認めているため、3年間での卒業も可能である。</p> <p>○総合学科として必修科目の他に総合選択科目を設定している。総合選択科目のうち国語・数学・英語の基本的な学習内容を含む科目を「コア科目」と名付け、卒業までに4単位以上履修することを定めている。（現代文A②、古典基礎②、国語表現②、数学A②、数学Ⅱ④、数学B②、数学活用②、コミュニケーション英語Ⅱ④、英語表現Ⅰ②、チャレンジ英語②※○数字は単位数）特に英語については2年次で2単位以上を必ず履修することとしている。</p>		
13	埼玉県立 羽生 高等学校	昼間定時制（昼夜・二部制）
<ul style="list-style-type: none"> ・「教育相談保護者の集い」を開催。SCの講演、その後保護者、教員の意見交換を実施 		
14	埼玉県立 飯能 高等学校	夜間定時制
<p>数学(数学Ⅰ・数学A・数学活用)の科目については、1～4学年のすべての学年において1クラス2展開の習熟度学習を実施している。</p> <p>国語(現代文B)においては、4学年で1クラス2展開の少人数授業を実施している。</p>		
15	埼玉県立 吹上秋桜 高等学校	昼間定時制（昼夜・二部制）
<p>本校独自の学び直しの学習システム「コスモスステップ」を1年次で学習。国数英の基礎的な問題に取り組み、スモールステップで小中学校の学び直しをしている。</p>		
16	埼玉県立 吉川美南 高等学校	昼間定時制（昼夜・二部制）
<p>埼玉県教育委員会「地域の多様な人材の活用による高校生自立支援事業」の指定を受け、地域若者サポートステーション（サポステ）と連携しながら、自立支援個人面談やソーシャルスキルトレーニング（SST）・社会体験活動の展開をしている。目的は、相対的貧困や母子・父子家庭の増加に伴う、家庭教育における子どもへの支援の希薄化に対応することである。</p>		
17	川口市立 川口市立 高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器（タブレット、プロジェクター等）を利用し、授業のポイントを絞り基礎力の向上を図っている。 ・授業の初めに漢字や計算等の基礎学習を取り入れている。 ・定時制に司書を配置し、夜9時まで図書室を開館し学習支援を行っている。 		

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	埼玉県立 浦和一女 高等学校	夜間定時制
<p>・昨年度、県のアセスメントツール、「ほんとうのわたしをみつけて（認知・行動評価表）」を生徒に実施した。特別支援教育委員会で集計結果を分析し、職員会議で報告するとともに、個々の生徒には学習支援の補助資料としている。</p>		
2	埼玉県立 大宮工業 高等学校	夜間定時制
<p>車イスや足を怪我している生徒及び運動制限をかかえる生徒に対してエレベーターを設置している。また、学期ごとにSC参加の生徒情報共有会を行い、特別な支援を必要とする生徒の状況を共有している。</p>		
3	埼玉県立 大宮中央 高等学校	昼間定時制・通信制
<p>スクーリング時に、保護者等の付き添いを可能としている。</p>		
4	埼玉県立 春日部 高等学校	夜間定時制
<p>学校生活や家庭環境に不安を抱く生徒に対し、スクールカウンセラーがカウンセリングを実施し、担当教員と指導方針を共有している。</p>		
5	埼玉県立 川口工業 高等学校	夜間定時制
<p>授業において、学習サポーターを配置しTTのような形で授業を展開している。サポーターは机間巡視をしながら、躓いている生徒や学習意欲が低下している生徒への声掛けと学習支援を行い、基礎学力の定着を図っている。</p>		
6	埼玉県立 熊谷 高等学校	夜間定時制
<p>入学時に中学校や保護者から特別な支援が必要である旨伝えられた際は、特別支援教育委員会を開催し、該当生徒の情報共有と教育的・合理的配慮について職員会議等で連絡し、周知を図っている。また必要に応じて、保護者、SC（県教委派遣）及び医療関係者を交えてのケース会議を開催し、対応を検討した。</p> <p>日常生活において特別な支援が必要と思われる生徒については、まずSCと接続させ、場合によっては保護者とSC、担任、管理職で面談を行い、必要に応じて行政機関（福祉課等）と連絡を取り、障害手帳の取得等を勧めている。</p> <p>さらに、そこから障害者就労支援・移行センター（ジョブトレ、チャレジョブセンター等）への接続を勧めている。</p>		
7	埼玉県立 狭山緑陽 高等学校	昼間定時制（昼夜・二部制）
<p>・入学式前に、特別な教育的支援について保護者に事前相談を呼びかけ、どのような支援を希望するか聴取する機会を設けている。</p> <p>・特別支援学校のセンター的機能を活用して授業観察を行い、学習支援や生徒観察のポイント等について専門的見地から助言を受けている。</p> <p>・近隣中学校と連携し、特別な教育的支援を必要とする生徒の情報を保護者の了解を得て中学校から引き継いでいる。</p> <p>・その他（1）に同じ</p>		
8	埼玉県立 所沢 高等学校	夜間定時制
<p>（1）障害者手帳を持つ生徒と保護者の双方に対して、スクールカウンセラーによる面談を定期的実施。</p>		
9	埼玉県立 戸田翔陽 高等学校	昼間定時制（昼夜・三部制）
<p>○県の「共生社会の形成に向けた特別支援教育推進事業に係る高等学校拠点校」の指定を受け、専門家による巡回支援を年間10回程度活用している。巡回支援員には授業観察、生徒・保護者との面談、担任等との情報交換をしていただき、当該担任や生徒本人に助言をいただいている。</p>		

10	埼玉県立 羽生 高等学校	昼間定時制（昼夜・二部制）
・特別支援学校のコーディネーターの巡回支援後に、コーディネーター及び養護教諭、担任、SC、SSW 等による会議を設定し、指導の方向性を確認している。		
11	埼玉県立 吹上秋桜 高等学校	昼間定時制（昼夜・二部制）
目の反射異常(両単眼複視)の生徒に対し、授業に教科書をダウンロードした i P a d の持ち込み、プリント・考査問題の拡大、板書の撮影を許可した。		
12	埼玉県立 吉川美南 高等学校	昼間定時制（昼夜・二部制）
埼玉県教育委員会「共生社会の形成に向けた特別支援教育推進事業」の指定を受けて、巡回支援員による具体的指導（生徒の実態把握、支援ポイントの助言、研修会実施）を実施している。		
13	川口市立 川口市立 高等学校	夜間定時制
・特別支援学校のコーディネーター、市障害福祉課、自立サポートセンター、社会福祉法人等と連携しながらキャリア教育を含めた生徒の支援を行っている。		

(3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	埼玉県立 朝霞 高等学校	夜間定時制
外国籍生徒のために、2年と3年の「国語」で、取り出し授業を行っている。		
2	埼玉県立 浦和一女 高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・県の「多文化共生推進事業」推進校として、多文化共生推進員が週に3回、始業前の個別の日本語指導や、授業内でのサポートなどを行っている。 ・ルビを振ったり、一部を英語に直したワークシート作成や、定期考査作成を行っている。 		
3	埼玉県立 大宮工業 高等学校	夜間定時制
日本語において支援が必要な生徒等のため、学習サポーターを配置し授業内において生徒の理解が遅れないように配慮している。また漢字等で読解が困難な生徒に対しては、教材の漢字にルビを振る等の支援を行っている。		
4	埼玉県立 大宮商業 高等学校	夜間定時制
・県の事業である多文化共生推進委員が週3回来校し、日本語指導を行っている。（日本語を母国語としない生徒：3名）		
5	埼玉県立 大宮中央 高等学校	昼間定時制・通信制
読み書きに関して課題を抱えている生徒へは、レポート作成を中心に個別指導を行っている。		
6	埼玉県立 春日部 高等学校	夜間定時制
外国籍の生徒に対し、多文化共生推進員が日本語指導をしている。		
7	埼玉県立 川口工業 高等学校	夜間定時制
日本語指導員や卒業生を学習サポーターとして配置し、教室の中で一緒に授業を受けながらサポートする「入り込み授業」を展開し、日本語を母語としない生徒に対してのサポートを行っている。また、授業中のみならず考査前後の補習や補助的な解説、日本語理解を促進するための課題（宿題）など、生徒に寄り添いきめ細かい指導を行っている。		
8	埼玉県立 熊谷 高等学校	夜間定時制
平成30年度は、日本語の支援が必要な生徒は在籍していないが、今後は必要に応じて、県教育局派遣の「多文化共生推進員」要請を検討している。		
9	埼玉県立 狭山緑陽 高等学校	昼間定時制（昼夜・二部制）
<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生推進員の配置により、授業時間外に1回45分間、週3回の日本語指導を実施している。 ・夜間部では、多文化共生推進員が授業時間中の支援もを行っている。 		

10	埼玉県立 所沢 高等学校	夜間定時制	(1)①多文化共生推進員による始業前補習を実施。 ②一部の授業と一緒に入りこんでもらい、該当生徒のサポートを実施。 (2) 学習サポーターの学生による授業前補習を実施。
11	埼玉県立 戸田翔陽 高等学校	昼間定時制 (昼夜・三部制)	○県の「多文化共生推進事業」の指定を受け、「多文化共生推進員」1名を委嘱している。非常勤職員として週3日、1日6時間勤務していただき、日本語の初級指導が必要な生徒への指導をお願いしている。
12	埼玉県立 羽生 高等学校	昼間定時制 (昼夜・二部制)	・教員と多文化共生推進員とにより夜間部始業前に日本語補習を実施 ・学校設定科目を利用して日本語及び日本文化を指導
13	埼玉県立 飯能 高等学校	夜間定時制	本校を退職した教員が週2回取り出し授業をおこない、日本語を指導している。
14	埼玉県立 吹上秋桜 高等学校	昼間定時制 (昼夜・二部制)	県教委の事業である「課題を抱える生徒の自立を支援する共助プラン」により、多文化共生推進員1名に週3回来校していただき、外国籍の生徒への個別支援を行っている。
15	埼玉県立 吉川美南 高等学校	昼間定時制 (昼夜・二部制)	埼玉県教育委員会「学習サポーター」の制度を活用し、地元の国際友好協会から講師を派遣してもらい、該当者を集め指導をいただいている。
16	川口市立 川口市立 高等学校	夜間定時制	・日本語指導員を配置し、始業前に日本語指導 (初級、上級) を開講している。 ・教科書や参考資料等の漢字に振り仮名をつけるなどのサポートを行っている。

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別: 昼間定時制/夜間定時制/通信制)	
1	埼玉県立 朝霞 高等学校	夜間定時制	生活保護受給世帯の生徒について、「彩の国子ども・若者支援ネットワーク (アスポート学習支援)」支援員と連携し、該当生徒の修学に支障が出ないように、状況に応じて市役所福祉課等に働きかけてもらっている。
2	埼玉県立 浦和一女 高等学校	夜間定時制	・生活保護を受ける母子家庭の生徒に対して、市役所福祉課、アスポート (困窮世帯の学習・生活支援事業)、学校と連携し、ケース会議を定期的に行っている。
3	埼玉県立 大宮中央 高等学校	昼間定時制・通信制	経済的な援助や市町村の補助が必要なケースについては、スクールソーシャルワーカーに相談してサポートを得ている。
4	埼玉県立 春日部 高等学校	夜間定時制	進学希望の生徒に対し、長期休業中や午後の始業前の時間を利用して進学講習を行っている。
5	埼玉県立 川口工業 高等学校	夜間定時制	世帯の収入により諸会費の一部減免を実施している。
6	埼玉県立 熊谷 高等学校	夜間定時制	県の事業である「修学奨励費貸付金」、「SSW派遣」事業の活用をするとともに、「定時制のためのアルバイト体験事業」等を活用してアルバイトのあっせんを行っている。

7	埼玉県立 狭山緑陽 高等学校	昼間定時制 (昼夜・二部制)
<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルスクールワーカーの配置により、生徒・保護者に対して就学支援制度や社会福祉関係の申請について専門的な助言を行っている。 ・「奨学のための給付金」の使途について保護者に周知している。 		
8	埼玉県立 秩父農工科学 高等学校	夜間定時制
<p>今年度、4年生が加藤山崎就学支援金7万円を受給した。この生徒は、県の修学奨励費月額1万4千円も受給している。必要性があれば、補助制度を活用している。</p> <p>生徒のアルバイト等の就労率は、77%である。対人関係が苦手な生徒以外は、経済的な理由もあり、アルバイト等で就労している。</p>		
9	埼玉県立 飯能 高等学校	夜間定時制
<p>外国籍生徒が一人暮らしを余儀なくされ、SSWを通して市役所(生活支援課・こども支援課)や民生委員と連携し生活のサポートをしている。</p>		
10	川口市立 川口市立 高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・事務室と連携して支払い計画を作成している。 		

(5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	埼玉県立 春日部 高等学校	夜間定時制
警察、児童相談所と連携し、生徒の情報を共有している。		
2	埼玉県立 川口工業 高等学校	夜間定時制
<p>入学許可候補者となった生徒の出身中学校に訪問し、必要な生徒情報をまとめて職員間で共有している。生徒は「学び直したい」という気持ちが強く、前向きに学校生活に取り組んでいる。</p>		
3	埼玉県立 熊谷 高等学校	夜間定時制
<p>平成30年度時点ではないが、非行で鑑別所に収監されていた生徒に対し、担任による面談を適宜実施した。その後、その生徒は退学等することなく、学校に復帰できている。</p>		
4	埼玉県立 飯能 高等学校	夜間定時制
<p>部活動をとおして生徒間の親交を深め、興味関心・技術を向上させ、県大会・全国大会に出場することができた。</p>		
5	川口市立 川口市立 高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて家庭、中学校、警察等関係機関と連携し、生徒の状況把握を行っている。 		

【千葉県】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	千葉県立千葉商業高等学校	夜間定時制
	・担任による見守りと声かけ	
2	千葉県立千葉工業高等学校	夜間定時制
	・丁寧な指導とわかりやすい授業実施	
3	千葉県立生浜高等学校	三部制定時制
	・理論や知識を生活体験できる授業の工夫や中学時の学習範囲の復習・ドリルの実施（マド等） ・レジリエンスと感情教育を中心にしたSST（東京情報大学との共同参画）	
4	千葉県立船橋高等学校	夜間定時制
	・T. T. または分割授業による学習フォロー	
5	千葉県立市川工業高等学校	夜間定時制
	・学び直しのための学校設定科目「高校基礎」を開講。少人数制授業を展開。 ・生徒面談週間を定期的に設定、SC配置による教育相談体制充実により、生徒理解を深める。	
6	千葉県立行徳高等学校	夜間定時制
	・個別指導やT. T. 授業 ・自己肯定感を醸成し、高める授業（Jワールドによるワークショップ等）の実施	
7	千葉県立松戸南高等学校	三部制定時制
	・1年次の国・数・英3教科の学校設定科目で少人数制習熟度別授業を行い、基礎から学び直しの授業を実施。 ・全校一斉による情報交換会や生徒面談週間を定期的に実施し、SCやSSW配置による教育相談体制充実やパソコン制度による教育相談体制拡充し、授業中の生徒理解へ。	
8	千葉県立佐倉東高等学校	夜間定時制
	・1年次の国語総合で2分割の少人数制授業実施。 ・コミュニケーション英語Ⅰ（1・2年次）、コミュニケーション英語ⅡでT. T. を実施。	
9	千葉県立佐原高等学校	夜間定時制
	・総合的な学習の時間の10時間程度を「学び直しの時間」として実施。	
10	千葉県立銚子商業高等学校	夜間定時制
	・SCによる人間関係づくりのための教育相談講話を毎年実施。	
11	千葉県立匝瑳高等学校	夜間定時制
	・数学・情報の授業でT. T. の授業実施。	
12	千葉県立東金高等学校	夜間定時制
	・1年次の数学の学校設定科目で学び直しを実施。 ・次年度から1年次に人間関係づくりの学校設定科目「SST」を設置予定。	
13	千葉県立長生高等学校	夜間定時制
	・地域の支援団体による、週に一度始業前の基礎学力養成講座の開講。 ・年に5回程度、県の子供と親のサポートセンターと連携したSSTの授業実施。	
14	千葉県立長狭高等学校	夜間定時制
	・0時間目の補習や人間関係・社会性を育てる道徳授業実施。	
15	千葉県立館山総合高等学校	夜間定時制
	・SCによる人間関係づくりの授業実施。	
16	千葉県立木更津東高等学校	夜間定時制
	・1年次の英語で学校設定科目による基礎固めを行う。 ・他にも学校設定科目の実施やT. T. の導入。	

17	千葉県立東葛飾高等学校	夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> 英語・国語での少人数授業、義務教育段階も含め基礎基本から指導。 進度の遅れた生徒への個別学習。
18	千葉県立千葉大宮高等学校	通信制	<ul style="list-style-type: none"> 通信制の利点を生かし、負荷のかからない登校スタイルを個別に設定する。(スクーリングは日月火の三日間同じ内容を実施するため、対人関係でトラブルがあっても他の曜日に登校すれば良い。)

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)	
1	千葉県立千葉商業高等学校	夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> 難聴の生徒に対して座席や授業中の説明を配慮する。
2	千葉県立千葉工業高等学校	夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> 全職員で生徒個々の現状を共通理解を図りながら指導する。
3	千葉県立生浜高等学校	三部制定時制	<ul style="list-style-type: none"> 視力に問題がある生徒に対して座席の配置と写メの使用許可。 クールダウンのための休憩部屋の提供。
4	千葉県立船橋高等学校	夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> 県が担当する障害者支援教員によるフォロー。
5	千葉県立市川工業高等学校	夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> 発達障害がある生徒への学習支援として、非常勤講師を授業補助(週6時間)に配置。
6	千葉県立行徳高等学校	夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> 書字が極端に遅い生徒にスマホ撮影許可等の配慮。 場面緘黙症の生徒に対する行事や授業での配慮。
7	千葉県立松戸南高等学校	三部制定時制	<ul style="list-style-type: none"> 書字を苦手とする生徒へ板書のスマホ撮影許可。 視力や聴力に困難のある生徒への座席の配慮や教室移動に困難がある生徒のエレベーター使用許可。 教育相談部と養護教諭が中心となって定期的にパニック障害や場面緘黙の生徒理解や対応のための情報交換会実施。
8	千葉県立匝瑳高等学校	夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> 情報交換会を通して全教員で生徒理解と必要とされる対応の周知を図っている。
9	千葉県立東金高等学校	夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> 視力の配慮が必要な生徒の座席を最前列に配置。 漢字の読みに関する配慮が必要な日本人生徒へ考査時に別室で、監督教員からの読み上げによる出題を実施。
10	千葉県立長生高等学校	夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> 学習に困り感を持った生徒の個別学習支援計画の作成。(現在作成中) 1、2年次生全員を対象にしたQUテスト実施
11	千葉県立長狭高等学校	夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> 弱視生徒に対する板書の工夫、配布物の工夫。
12	千葉県立館山総合高等学校	夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> 教室の隣にクールダウンや個別支援が可能な部屋を設置し、職員1名が常駐する。
13	千葉県立木更津東高等学校	夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> 生徒対応や理解のために外部講師を招いての講演会や事例研究研修を実施。

14	千葉県立東葛飾高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・パニック障害のある生徒に対する、教室後方の座席配慮。 ・知的障害の生徒に対する全職員による共通理解と県からの人的支援配置。 		
15	千葉県立千葉大宮高等学校	通信制
<ul style="list-style-type: none"> ・学習チューターの実施（千葉大学で教職課程の学生のボランティアによる、チューター室にて希望する生徒の学習支援。） 		

(3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	千葉県立千葉商業高等学校	夜間定時制
外国語支援員 2 人：対応言語は中国語 <ul style="list-style-type: none"> ・授業中支援や保護者との対応 		
2	千葉県立千葉工業高等学校	夜間定時制
外国語支援員 2 人：対応言語は英語・中国語 <ul style="list-style-type: none"> ・該当生徒を、取り出して日本語指導を行っている。 		
3	千葉県立生浜高等学校	三部制定時制
外国語支援員 3 人：対応言語は英語・スペイン語・フィリピン語・中国語 <ul style="list-style-type: none"> ・授業中支援や学習会実施、保護者対応 ・必要に応じてプリントや考査にルビをふる。 ・日本語力向上のための日本語運用実態調査の実施。 ・学校設定科目「日本語基礎」で母語を大切にし、自己肯定感を高めながらの日本語学習。 		
4	千葉県立船橋高等学校	夜間定時制
外国語支援員 1 人：対応言語は中国語 <ul style="list-style-type: none"> ・LHRや総合的な学習の時間に、取り出して学習会を実施。 		
5	千葉県立市川工業高等学校	夜間定時制
外国語支援員 3 人：対応言語は中国語・フィリピン語・スペイン語 <ul style="list-style-type: none"> ・授業中支援や学習会を実施。 ・学校設定科目「日本語講座」で、日本語指導や日本の文化・習慣について授業。 ・授業中の板書やプリントや考査問題にルビをつける。 ・文部科学省「高等学校における学習ニーズを踏まえた指導の充実事業」の取組として、日本語指導を必要とする生徒への支援体制構築について実践研究を進めている。 		
6	千葉県立松戸南高等学校	三部制定時制
外国語支援員 2 人：対応言語は中国語・タガログ語 <ul style="list-style-type: none"> ・授業中支援や保護者への対応。 		
7	千葉県立佐倉東高等学校	夜間定時制
外国語支援員 2 人：対応言語はタガログ語・中国語・スペイン語・ペルシア語 <ul style="list-style-type: none"> ・毎週火曜日 15 時から 2 時間、外国児童生徒教育相談員 2 名による日本語教室実施。 ・いじめアンケートに、英語版・韓国語版がある。 		
8	千葉県立銚子商業高等学校	夜間定時制
外国語支援員 0 人 <ul style="list-style-type: none"> ・板書した漢字にフリガナをつける。授業の中で、日本の風土や文化についても時折話をする。 		
9	千葉県立匝瑳高等学校	夜間定時制
外国語支援員 0 人 <ul style="list-style-type: none"> ・板書やプリント、定期考査にフリガナをつける。 		
10	千葉県立館山総合高等学校	夜間定時制
外国語支援員 0 人 <ul style="list-style-type: none"> ・該当生徒がいる授業は、T. T. で行い、T 2 が個別指導で対応する。 		

11	千葉県立東葛飾高等学校	夜間定時制
外国語支援員2人：対応言語は英語・中国語 ・授業中同席し単語の翻訳や、毎週0時間目の60分程度日本語指導実施。		

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	千葉県立千葉商業高等学校	夜間定時制
・SSWを通じた地域包括支援センターとの連携		
2	千葉県立千葉工業高等学校	夜間定時制
・SSWとの連携や各学年内できめ細かな指導を実施。		
3	千葉県立生浜高等学校	夜間定時制
・SSWを通じた地域包括支援センターとの連携 ・SSW・外国語の教育相談員・事務室が連携した就学支援金申込支援 ・NPOスマイルジョイによる、食事をとることが難しい生徒への自立支援		
4	千葉県立船橋高等学校	夜間定時制
・児童相談所、市役所及び校内のSCやSSWとの連携による指導		
5	千葉県立市川工業高等学校	夜間定時制
・授業料減免や夕食補助等の県一斉の取組、千葉教弘給付奨学生の案内		
6	千葉県立行徳高等学校	夜間定時制
・地元のサポートセンターや生活支援課との連携 ・若者サポートプロジェクト678による卒業後の就職支援		
7	千葉県立松戸南高等学校	三部制定時制
・校内配置のSCやSSWと教育相談部が担任と連携して、外部組織との対応を検討する。 ・外部組織の児童相談所や市の福祉課との連携を行う。		
8	千葉県立佐倉東高等学校	夜間定時制
・近隣市町の児童青少年課、子育て支援課、生活支援課、障害福祉課、家庭相談室との連携。 ・千葉県中核地域支援センター、NPO法人の子ども食堂、社会福祉協議会、小中学校のSSWとの連携		
9	千葉県立佐原高等学校	夜間定時制
・市役所の子育て支援課との連携。(単なる経済的困難だけではない)		
10	千葉県立東金高等学校	夜間定時制
・通院や入院を伴う生徒についてはSSWの協力を得ながら、市のこども課等との連携による支援を行う。		
11	千葉県立長生高等学校	夜間定時制
・中核地域支援センターとの連携。		
12	千葉県立長狭高等学校	夜間定時制
・市の子ども支援課(保健師、相談員)や市の福祉課との連携		
13	千葉県館山総合高等学校	夜間定時制
・地域のSSWと連携して個別の相談等を行う。		
14	千葉県立木更津東高等学校	夜間定時制
・SSWを活用した地域包括支援センター等との連携。		
15	千葉県立東葛飾高等学校	夜間定時制
・担任やSSWによる市役所や福祉課、生活支援課との連携、地域包括支援センターとの連携。		